

【知事定例記者会見】10月7日

ワクチン接種について

知事／県内のワクチン接種率は81.9%、全国が78.4%。県内は8割を超え、最終段階に入った。市町の予約は、取りやすくなっている。また、今週月曜日からは、県庁1階で18時半～20時半まで、予約なしでワクチン接種が受けられる。2回の接種日が必ず揃わなくてもいい。2回目は多少前後しても構わないので、15日までに1回目の接種に来てほしい。

最近の陽性者の事例は未接種者が多いので、接種できる人は受けてほしい。問題があれば、相談窓口に連絡を。

第6波に向けた備えを進めています

現在、コロナ感染者は全国的に落ち着いているが、第6波への備えを進めておきたい。冬に向けて、さらに病床を増床したい。白石の臨時医療施設は、医療施設からの下り搬送を想定し備えておく。宿泊医療施設は、伊万里市や唐津市を念頭に交渉を進めていきたい。

第6波に備え、機動的で戦略的なオペレーションができるよう、「プロジェクトM」の準備を進めていく。

全国に先駆け、次世代スギの開発に成功しました！

この開発は、56年前の1965年3月にスタートした。スギ対策は、人口林が多い佐賀県の大きな課題だった。成長のよいスギを人工交配し5年を費やし苗木を作成。その苗木を4年かけ植栽。10年成長したスギを厳選し、109本を選別した。2020年、最も優れたものを次世代スギとして選抜した。この開発を始めたのは、元県庁職員の原信義さん。3年前に87歳で亡くなった。原さんのためにも、このスギを生かしていきたい。

このスギの特徴は3点。成長が早く、強度が従来の1.5倍、花粉の量が2分の1以下で優しい。3拍子がそろったスギは全国初。「サガンスギ」の名前で、商標登録出願中。令和4年春に苗木の出荷を開始する予定。

佐賀県の山が、全部このスギに変わるのに160年ぐらいかかる。「サガンスギ」による新しい佐賀の森林づくりに取り組んでいく。

夜歩きアート県庁 NAKED GARDEN SAGA 開催中！

10月1日より、アート県庁第6弾「夜歩きアート県庁」を開催している。

アート県庁プロジェクトは毎年開催しているが、今年は昨年の20倍と好評。昨年までは県庁の屋上のみだったが、今年は佐賀城公園と連携し屋外型にした。県庁展望ホールと佐賀城公園エリアを、ディスタンス提灯を持って移動できる。

また、県庁展望ホールには、世界につながるアート作品「Dandelion(ダンデライオン)」が設置されている。これにスマートフォンをかざすと、タンポポの綿毛が映像で広がり、佐賀城公園

やシンガポール、パリに飛んでいく。世界につながるコンテンツを試してほしい。

佐賀城本丸歴史館では、趣向を凝らした佐賀のさまざまなお祭りのマッピングがある。また、街路樹や NAKED つくばいなど、夜の城内を楽しむ取り組みがある。

料金は2会場で1,100円、小学生未満は無料。時間は19時～22時。佐賀城公園は週末と休日のみ、県庁展望ホールは、毎日開催している。

県庁では、男性職員の子育てを応援するため「ハッピー・ツー・ウィークス」を始めました！

夫婦一緒の子育てを応援するための取り組み。「子育てし大県」に取り組む佐賀県は、骨太な子供たちを育てていきたい。

これまで、出会いサポートセンターの設置や mamari との連携、父子手帳などに取り組んできた。その一環として、県庁でも夫婦一緒の子育てを当たり前にしたい。

県庁の男性職員の8日間育休取得率は、平成28年が3割弱、令和2年は7割強と上昇している。しかし、8日間では補助的なお手伝いしかできない。主体的な夫婦一緒の育休には最低2週間は必要だと考えた。2週間以上の取得率は、令和2年で33%と低い。今回の取組で、これが100%になるよう、2週間の取得が当たり前になるようにしたい。

第1号として取得し復帰した副知事秘書から感想を。

副知事秘書／2か月の育休を取得した。育休中は、普段はしない料理や上の子の保育園の送迎など多くの経験ができた。子供の成長を近くで見守ることができ、とてもいい経験だった。

知事／具体的な取り組みとして、

- ・不取得理由書の提出（これからは取得しないことを例外に）
- ・生活スタイルに応じた取得パターンを職員に提示
- ・子供が生まれたすべての職員に HAPPY CARD を贈ります

SAGA アクアオープニングセレモニー 平井伯昌コーチ率いる東京五輪女子チームが新たに参加決定！

10月23日に、国際基準の水泳場である SAGA アクアがオープンする。北島選手や大橋選手のコーチとして有名な平井さん、東京オリンピック出場選手、前スポーツ庁長官の鈴木大地さんらに来てもらう。

県内在住者アスリートとのリレーマッチといった企画も考えている。午後は平井コーチとオリンピックによるスイムレッスンを実施する。希望者は Web ページの専用フォームから申し込みを。

さがを深く知る大交流会“サガシル”を開催します！

学生に佐賀県の良さを知ってもらうため、SAGA サンライズパーク総合体育館でおこなう。若手社員座談会や講演会、ワールドカフェを開き、直接話す場を設ける。佐賀の魅力を感じて、佐

賀で働いきっかけにしてほしい。

ゾンビランドサガ リベンジ デジタルスタンプラリーを開催します

前は約 9,000 人が参加、今回の目標は 3 万人。スタンプも県内 200 か所に設けた。スマホを持って、県内各地を回ってほしい。

スタンプを集めると、抽選で賞品をプレゼントする。

佐賀駅南テラスチャレンジを実施します

令和 3 年度の SAGA ナイトテラスチャレンジは、8 日から 30 日の金・土曜日のみ 18 時から 22 時まで開催する。整備が進んでいる駅南口でも、駅南テラスチャレンジを実施する。

今回は社会実験として、車道を 4 車線から 2 車線に減少し、キッチンカーやテラス席の空間を創っていく。秋空の下、ゆとりある空間で楽しんでほしい。

今年だけの特別企画 さがびとたちの休日（九年庵）

九年庵は、今年も公開しないことになった。そのため、「さがびとたちの休日（九年庵）」編として、12 月上旬から映像を配信する。

篠笛の佐藤さん、ANA 羽田オーケストラの音楽。八賢人おもてなし隊の青柳さんが大隈重信を演じ、亡くなる直前に九年庵を訪れた回想シーンを再現する。

大隈重信没後 100 年・鉄道開業 150 年記念特別展「陸蒸気を海に通せ！」

大隈重信 100 回忌に合わせ、アカデミアプロジェクトを 2 つ紹介する。

10 月 15 日 19 時から、サガテレビで特別番組を放送する。MC は、お父様が伊万里の波多津出身の古舘伊知郎さん。

もう一つは、鉄道開業 150 年、没後 100 年の特別記念展「陸蒸気を海に通せ！」。

西郷隆盛が、「鉄道より、その費用を軍費に回すべきだ」との思いを書いた「見込書」の展示や「この鉄道事業は、大隈重信と伊藤博文がやるように」と示された「委任状」など、さまざまなコンテンツを用意している。